

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO. 30 2009年7月5日

目 次

第9回総会報告 1	作業部会から 9
新役員紹介 2	施設紹介 10
会長から 3	臨床こぼれ話 11
言語聴覚士協会総会・学会報告 4	理事会等報告 13
学術局から 5	事務局から 15
私の地域勉強会 9	求人情報 17

◇ 第9回総会が開催されました ◇

5月17日（日）に第9回千葉県言語聴覚士会総会が開催されました。会員の皆様のご協力により、議事を円滑に進めることができました。ご協力に感謝致しますとともに、総会の概要をご報告致します。

日時： 平成21年5月17日（日） 13時00分～13時47分

場所： 千葉大学医学部附属病院 第3講堂

議長： 野島洋子（千葉県立松戸特別支援学校）

副議長： 高橋典子（千葉市療育センター）

書記： 酒井千代（佐倉厚生園）、三原芳絵（みつわ台総合病院）

会員数及び出席者数：会員数306名、出席者184名（当日参加45名、議長委任139名）

I. 報告事項

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 平成20年度活動報告 | 2. 平成20年度決算報告 |
| 3. 平成20年度会計監査報告 | 4. 細則と分掌規定の変更報告 |

II. 協議事項

1. 第1号議案 平成20年度活動報告の承認に関する件
2. 第2号議案 平成20年度決算報告に関する件
3. 第3号議案 平成20年度会計監査報告に関する件
4. 第4号議案 新役員の承認に関する件
5. 第5号議案 平成21年度活動方針案に関する件
6. 第6号議案 平成21年度予算案に関する件

以上の件が提出され、賛成多数により承認されました。

（総務部 宮下恵子）

♪♪ 新役員紹介 ♪♪

平成21年5月17日（日）に開催されました第9回千葉県言語聴覚士会総会において、皆さまから承認されました新しい役員の方々を紹介します。

【会長】吉田 浩滋（鎌ヶ谷市身体障がい者福祉センター）

目標は①言語聴覚士の認知度をあげること、②会員相互のつながりを強くすること、③県士会設立10周年行事を成功させることです。これまでの県士会の歴史を引き継ぎ、この3点の実現に取り組みますので、皆さまのご協力を宜しくお願ひします。

【副会長】小嶋 知幸（市川高次脳機能障害相談室）：事務局 財務部

STになって20年が経過し、馬齢を重ねてしましましたが、千葉県士会員としては4年生になったばかりです。少しでも皆様のST生活に資することができるよう、微力ながら努めたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【副会長】木下 亜紀（のぞみ牧場学園）：学術局

この度、学術局と小児言語委員会を担当します。学術局では会員の皆様のご意見をお伺いしながら、STとして必要な情報や知識を皆様と共有できる研修会の企画、運営に取り組んで参ります。また、委員会に参加しながら、自己研鑽に励みたいと思っております。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

【副会長】斎藤 公人（千葉市療育センター）：社会局 渉外部

この2年間は社会局広報部としてHP等での情報発信を行ってきました。今回は渉外部として千葉県内外の諸機関との情報交換の窓口として頑張っていきたいと思います。2年間経験させて頂いたことを糧として、さらに新理事とともに県士会をアピールしていきます。どうぞ宜しくお願ひいたします。

【理事】宮下 恵子（千葉県立千葉聾学校）：事務局 総務部

総務部担当となりました宮下です。まもなく設立10周年を迎える県士会の総務ということに、とても重責を感じますが、学校との連携等、教育からの視点での活動も心がけていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

【理事】古川 大輔（君津中央病院）：事務局 編集部

主にニュースの編集、発行を担当いたします。少しでも県士会のお役にたてるよう全力を尽くしたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【理事】平澤 美枝子（佐倉ホワイエ）：学術局

介護保険領域で勤務するSTとして、理事に就くことになりました。わからないことも多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、皆様にご指導いただきながら、役割を果たしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

【理事】相楽 涼子（東京女子医科大学八千代医療センター）：社会局 広報部

社会局広報部を担当させていただくこととなりました、相楽です。会員の皆様にとって役に立つよう、更なるホームページの充実を目指したいと思っております。またホームページを通し、有意義な情報が皆様に滞りなく伝わりますよう、努力して参りたいと存じます。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

◇ 会長から ◇

～第12回都道府県士会協議会報告～

■ 31の県士会が参加

本年、日本言語聴覚士協会（以下協会）の総会に先立ち、総会前日の6月12日（金）に、岡山で第12回都道府県士会協議会（以下協議会）が開催されました。

冒頭、協議会に参加している29の県士会に加え、現在、2つの県士会（新潟・長野）が参加登録の手続きを行っているという報告があり、会場にはその2県士会がオブザーバーとして参加しました。

■ 本年9月13日、一般財団法人・日本言語聴覚士協会が誕生する予定！！

協会からは、協会の法人化のための解散総会を9月13日に行い、あわせて一般社団法人・日本言語聴覚士協会の設立総会も同日に行う旨の報告がありました。現協会解散には協会員の3分の2以上（現在会員は約9000名のため、約6000名）が何らかの形で総会に参加することが必要となるため、各県士会には、その参加の呼びかけに協力していただきたいというお願いがありました。なお、協力の具体的な手立てについての提案は無かったのですが、解散および設立総会に参加できない場合は委任状を提出することが求められると思われます。

■ 現状の形態を維持したまでの法人化

協議会では、日本理学療法士協会のように「代議員制」をとることは考えていないのか、という質問を行いましたが、今回の定款では現状の組織形態を一般法人化するだけなので、代議員制という新たな仕組みは考えていないという回答がありました。なお、第一次定款案では会員と社員が明確に分けられていなかったため、その部分を整理するように求めました。

（会長 吉田浩滋）



◇第10回日本言語聴覚士協会総会

日本言語聴覚学会に参加して◇

標記学会が、「言語聴覚臨床のスコープ」と題して、種村 純会長(川崎医療福祉大学 医療技術学部 教授)のもと、平成21年6月13日(土)・14日(日)に、川崎医療福祉大学で開催されました。

幸い両日は好天に恵まれ、特に2日目は真夏のような青空でした。本学会への参加者は年々増加傾向にあり、今回の参加者についても、種村会長によれば、「まだ未集計であるが初日の午前中だけで1500人を越えていた。おそらく2000人を超えるだろう」とのことでした。しかし、それにもまして、その参加人数の多さを感じさせないほどの、川崎医療福祉大学の広々と充実した施設に、改めて感動しました。

発表会場が7会場あり(口頭発表・セミナー5会場、ポスター発表2会場)、2日間どのような行動計画で回ろうかと悩むほどでした。本学会で得た印象を、自分が参加できた限りで簡単に報告したいと思います。

初日、メイン会場であるA会場は、シンポジウムI「嚥下訓練のEBM」で幕を開けました。私たちSTにとって、この領域が益々重要になっていることを象徴するプログラミングでした。また、午後には発達神経心理学領域から2題の講演が組まれていました。中でも十一元三氏(京都大学大学院)による「広汎性発達障害の研究からみた対人性の発達とその神経基盤」と題する講演は、強迫的傾向と尾状核、表情認知と上側頭葉など、広汎性発達障害の脳内基盤に関する研究の最近の知見に関する、大変興味深い内容でした。B会場では、脳機能の回復とリハビリテーションというテーマで、やはり2題の講演が組まれていました。中でも岩村吉晃氏(川崎医療福祉大学)による「言語機能の回復の生理学的メカニズム」と題する講演では、脳卒中後の言語の回復過程の生理学的メカニズムについて、急性期・亜急性期・慢性期の3つのステージに整理した上で、包括的な文献レビューを交えた解説がなされ、言語機能回復を生業とする私たちSTにとって、非常に示唆に富む内容となりました。

総会では、いよいよ本協会が一般社団法人化することに決まり、9月13日(日)に、決起集会が開催されるという報告がなされました。当協会会員として、また県士会会員として、今後の動向を注意深く見守る必要があると感じました。

2日目は、A会場はシンポジウムII「失語症の包括的理 解」で始まり、そこではICFの障害理解の考え方をベースに、4人のシンポジストによって失語症による諸相が語られ、さらに、韓国からの招聘シンポジストによる隣国における失語症をとりまく状況についての報告が行われました。そして午後には種村会長による「認知コミュニケーション障害の諸相」と題する会長講演があり、最近の氏および研究チームの成果が発表されました。

その他にも、特別プログラムとして、自閉症の動物モデルに関する研究報告や、聴覚障害に関する講



演など、実に包括的で、内容の充実した学会でした。むろん、一般演題でのST諸氏の精力的な発表と、活発な討論があったことも付記しておきたいと思います。

県士会の諸兄におかれても、特に若い方々には、日々の臨床の中での小さな「気づき」を流してしまうことなく、ささやかでも研究という形にまとめ、当学会でその成果を問うとともに、積極的に意見交換を求めてはいかがでしょうか。大変勉強になった2日間でした。

(副会長 小嶋知幸)

◇ 学術局から ◇

1. 第2回研修会のお知らせ

平成21年度第2回研修会は小児及び成人・制度の分科会と、聴覚障害をテーマにした講演会を行います。今回は、さらに会員の皆様のニーズに応じ、日々の臨床にお役立ていただきたい思いから、当会の介護保険委員会、小児言語委員会、聴覚障害委員会が内容を企画しました。お誘いあわせの上、ご参加ください。

*日時：平成21年9月6日（日） 13時00分～16時40分

*会場：千葉大学医学部附属病院 3階 第1・2講堂

*内容

13:00～15:00 (分科会／講演)

成人・制度：

介護保険におけるST業務の現状

ユー・アイ久楽部

緑が丘訪問看護ステーション 言語聴覚士 勝又 紗子

小児：

発達障害児の指導と早期総合支援モデル事業から見る小児の言語障害へのアプローチ

印西市発達支援センター 言語聴覚士 渡辺 裕貴、他

15:10～16:40 (講演)

聴覚障害：

聴覚障害を知る 初級編

-聴覚障害者をどのようにみつけたらよい？ どう対応する？

聴覚障害はあまりわからないという方に-

千葉大学医学部附属病院耳鼻咽喉科 言語聴覚士 常田 千佳

千葉市療育センター やまびこルーム 言語聴覚士 高橋 典子

(株)日本補聴器センター 言語聴覚士 萩洲 えりも

*申し込み：同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。

2. 第1回研修会報告

平成21年5月17日(日)に千葉大学医学部附属病院で第1回研修会を開催しました。今回は、酒井邦嘉先生の講演会を行いました。最先端の研究から言語の本質をお話いただきました。参加者は130名(会員91名、会員外39名)でした。研修会の内容と、アンケート結果の一部を紹介します。

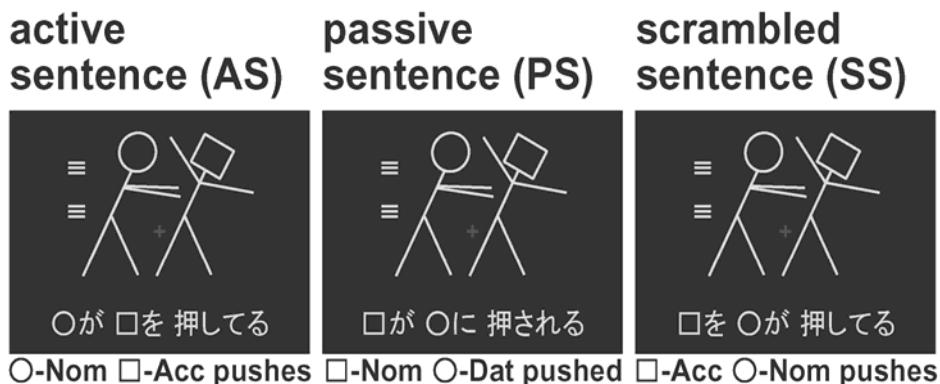
研修会の内容

演題: 脳から見た言語の本質

講師: 東京大学大学院総合文化研究科 准教授 酒井 邦嘉

要約:

人間の言語が「再帰的計算」という本質的な特徴を備えている。再帰的計算に基づく階層的な構造は、自然言語である手話にはもちろんのこと、数学的な能力や芸術作品にまで反映されており、興味深い性質である。次に、脳活動の個人差を機能的磁気共鳴画像法(fMRI)で調べ、外国語としての英語力と密接に関係する複数の脳部位を特定した知見を紹介した。具体的には、英語の習得期間が異なる2群の中高生を対象として、英語文の文法性に関する課題を行っている最中の脳活動をfMRIで測定した結果、習得開始が中学1年の群では成績に比例して左脳前頭葉の「文法中枢」の活動が高く、習得開始が小学1年の群では英語力が身につくほど文法中枢の活動が節約されていることが明らかになった(Sakai *et al.*, 2009)。さらに、英語の文法能力と高い相関を示す脳の局所体積の個人差をMRIで調べることで、語学の適性と密接に関係する脳部位を特定した最近の研究を紹介した。英語文の文法性の判断能力の調査に加え、脳の局所体積をMRIで測定し、その個人差を詳細に分析した結果、脳の下前頭回の局所体積において、右脳の対応部位より左脳の対応部位の方が大きいという「非対称性」の程度が、文法課題の成績に比例することが分かり、この領域は文法中枢と一致した(Nauchi & Sakai, 2009)。最後に、VLSM法(voxel-based lesion-symptom mapping)を用いた最新の成果によると、「文法中枢」に脳腫瘍を持つ患者は、医学的に失語症と診断されなくとも顕著な文法障害を示すことを明らかにした(Kinno *et al.*, 2009)。結論として、下図のような文法課題(絵と文のマッチング)が言語評価には大切である。



アンケート結果 (回答者60名)

<研修会に参加していかがでしたか?>

とても良かった: 51名 普通: 7名 期待していた内容と異なった: 1名 回答なし: 1名

—具体的に—

- ・興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。脳科学の手法のおもしろさがわかりました。今後、認知言語学について学んでみたくなりました。機能的な面だけでなく構造の違いについて話があった事が良かった。第二言語習得や適正の話はSTとしてではなく、一般的な知識を得られたので良かった。
- ・言語の習得について具体的な数値を示しながら局在を見せてくれたので、分かりやすかった。言語には文法中枢が重要であるということもうなづけた。(ブローカ野との関係は切り離して)
- ・脳MRI像から症状を考える事が多いが、ベースとなる脳知識が豊富であればあるほど 高次脳機能を考えるときに役立つことを再認識した。意識的な定着過程を一定期間要するのに年単位となると現在の医療制度では対応しきれない患者も多いのではと思いました。

<研修会の感想>

- ・講義形式の研修が多いと思うのですが（私が出た講習がそうなのかもしれません）体を動かす実技を含む研修も実施できると面白く、研修の幅も広がるのではと思います。嚙下、高次脳、失語のグループ訓練、運動障害性構音障害などだと実技の方が頭に入ると思います。
- ・今回の様にST近接の先生からの視点・考え方による講演により、臨床をより客観的に見ていく力を養っていきたいと思う。

<今後の研修会への希望>

- ・嚙下の症例検討、講習会。注意障害のリハビリテーション方法（APTなど）、維持期の言語治療、最新の情報の研修会。

<研修会を終えて>

酒井先生から最新の研究結果を交えて言語の本質を語っていただきました。テレビや雑誌などでよくお見かけするご高名な先生だけに県外や会員外の参加者も多く、熱気のある講演となりました。また、司会の筑波大学大学院准教授宇野彰先生が酒井先生の講演内容を掘り下げていただき、質疑応答の時間も活発な意見交換がされました。皆様の臨床の一助になれますよう願っております。



3. 第3回研修会の予定

日時：平成22年1月17日（日）13：00～16：40

内容：高次脳機能障害に関する症例検討（小児、成人）

[助言・講演]前千葉県千葉リハビリテーションセンター 言語聴覚士 竜木 美恵子

他、成人の高次脳機能障害に詳しい会員を予定しています。

会場：千葉大学医学部附属病院 3階 講堂（予定）

[研修会の症例発表者募集]

第3回研修会での症例発表者を募集します。日頃の臨床で悩んでいる症例などありましたら、ぜひ発表してください。 申し込みや問い合わせはホームページ、事務所へのFAX、郵送でお知らせください。

4. 研修会ビデオの貸し出しと資料の送付

1) ビデオの貸し出し

これまでに実施した研修会のビデオを貸し出しています。下記の要領でお申し込みください。

方法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円分、2本390円分）を貼り、下記宛にお送りください。

宛 先：〒272-0823 市川市東菅野2-12-4 市川ことばの会 野島 洋子

貸し出しビデオ：対象となる研修会の詳細は、県士会ホームページをご覧ください。

貸出期間：1ヶ月

貸し出しについての注意

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

2) 資料の送付

希望者に研修会資料を配布しています。返信用封筒（A4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（200円分）を貼りお送りください。宛先はビデオ貸し出しと同様です。

対象となる研修会についての詳細は、県士会ホームページをご覧ください。

5. 「地域の勉強会」「小児多職種合同勉強会」に参加しませんか？

現在、千葉県内の各地域で様々な勉強会が開催されています。ホームページの「小児多職種合同勉強会」、「地域勉強会」をご参考の上、ご参加ください。

小児の分野では、病院勤務の言語聴覚士、学校現場の言語聴覚士、養護教諭など、多職種が関わることが多く、共通の子どもの成長に携わっていても、なかなかお互いにコミュニケーションがとれないという声がたくさん寄せられていました。そこで「小児多職種合同勉強会」を県内5地域に発足させましたので、ぜひご活用ください。

（学術局 野島洋子）

★★ 特集：私の地域勉強会 ★★

県内各地で行われている勉強会を順番に紹介しています。今回は、市川発達支援ネットワークです。

～市川発達支援ネットワーク～

市川地区の小児多職種合同勉強会です。2年前から市川を中心とした発達支援を必要としている子どもたちへの支援を考えることを目的に、県士会員、特別支援学校コーディネーター、保健師、保育士、教員はじめました。活動内容は、発達支援を必要としている子どもたちのために隔月で行われる情報交換を中心としたネットワークづくりと、講師の先生をお招きした年3回の学習会です。学習会は浦安、市川の小中学校、幼稚園、保育園及び公民館の他、県士会ホームページでご案内しております。市川市の豊富な人材を活用した講演会で、過去にはLD・Dyslexiaセンターの宇野彰先生や国立国際医療センター国府台病院の渡部京太先生、宇佐美政英先生にご講演を頂きました。今後の活動予定につきましては、県士会のホームページに掲載しますので、ご覧ください。皆さまのご参加をお待ちしています。

連絡先：〒272-0823 市川市東菅野2-12-4 市川ことばの会

TEL 047-324-4348 野島 洋子



◇ 作業部会から ◇

◎○◎ 生涯学習プログラム作業部会 ◎○◎

今年度から基礎講座に加えて専門講座も実施することが決まり部会の名称は、生涯学習プログラム作業部会となりました。

生涯学習プログラム基礎講座と専門講座の千葉県版を実施

日本言語聴覚士協会の「生涯学習プログラム 基礎講座（6講座）・専門講座（1講座）」と千葉県独自の講座（1講座）を2日間で受講できるように設定しております。

日 時：平成21年11月22日（日）・12月6日（日）

会 場：千葉市民会館

詳しくは同封の案内状をご覧下さい。多くの皆様の参加をお待ちしています。

（塘まゆり）

◎○◎リハビリテーション公開講座作業部会◎○◎

第3回 リハビリテーション公開講座のお知らせ

千葉県理学療法士会・千葉県作業療法士会・千葉県言語聴覚士会、千葉県リハ医学懇話会主催「第3

回リハビリテーション公開講座」を開催いたします。

今回は「脳卒中のリハビリテーション～自宅で安心して暮らせるように～」と題して専門医、PT、OT、STがそれぞれの側面から脳卒中後の在宅でのリハビリテーション等について、わかりやすくお伝えします。本人・家族向けの個別相談や高校生等の進路相談のコーナーも設けます。お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

日 時： 平成21年10月17日（土） 10：30～16：30

会 場： 千葉市美浜文化ホール（JR京葉線 檜見川浜駅 徒歩8分）

内 容： ■基調講演『脳卒中におけるリハビリテーション』

千葉県千葉リハビリテーションセンター 吉永 勝訓 先生

■講演 『リハビリテーションでできること～自宅で安心して暮らせるように～』

千葉県言語聴覚士会 講師：らいおんクリニック 日下 智子 氏（予定）

※ 参加費 無料（どなたでも参加できます）

（神作暁美）

施 設 紹 介

千葉県こども病院 ST 猪野 真純

当院は県立の小児専門病院として昭和63年に開院し、県内の第2次、第3次医療を担っています。病床数は203床で、15歳未満の小児を主な対象としています。千葉市の中でも市街地から離れた緑豊かな場所にあり、千葉県千葉リハビリテーションセンターと袖ヶ浦特別支援学校が隣接し、互いに協力しながら子供たちを治療・支援しています。

言語聴覚士は、口唇口蓋裂、聴覚障害、構音障害を中心に小児全般を対象とし、各種発達検査、聴力検査、言語訓練を行っています。口唇口蓋裂については、形成外科と協力しながら術前の哺乳・摂食相談からかかわり、術後は定期的に鼻咽腔閉鎖機能の評価や発達・構音の経過観察を続け、必要に応じて構音訓練を行っています。耳鼻咽喉科領域では近年、新生児聴覚スクリーニングの浸透に伴い、聴力の精査目的での来院が増加しており、0歳代から聴力検査（BOAやABR、ASSRなど）を行い、聴力の確定診断、補聴器のフィッティングを進めています。療育・教育先との連携も大変重要で、県内のろう学校・通園施設を中心に多くの施設の方々にご協力をいただきながら、子供たちを支援できるよう努めています。

現在STは3名おりますが、まだまだ経験不足で試行錯誤の毎日です。少しでも子供たちの笑顔が増えるよう、できる限りのことをしていきたいと思っています。

〒266-0007 千葉市緑区辻田町579-1 TEL: 043-292-2111

千葉市児童相談所 S T 小島 さほり

千葉市児童相談所は千葉市の政令都市移行に伴い、1992年4月に開設されました。近年虐待問題が大きく取り上げられるようになり、施設として取り組むことも多くなりました。相談所は相談措置・虐待対策・調査指導・診断指導・一時保護の5つの係から成り、言語聴覚士は診断指導係に属します。

診断指導係には心理判定員を中心にPT・ST（ともに常勤）医師、臨床検査技師（ともに嘱託）がいます。STは一人ですが他職種とケースをすすめることも多く、幅広い意見を聞くことができる特長です。

STがかかわる相談内容は言語発達遅滞、発音不明瞭、吃音が多く、施設の性質上、養護的要素（家庭の事情等）が強いケースもあります。心理判定員・医師らと診断を行い、今後の方針について保護者と話し合います。継続指導を行う場合もありますし、療育センター、同じ建物内にある養護教育センター等他機関を紹介することもあります。

継続指導は構音訓練、言語発達遅滞訓練等個別指導が中心です。年に一度、乳幼児精密健康診査事後指導として親子集団通所指導（週1回・8回）を心理・保育士と行っています。言語発達やコミュニケーションについて心配を持つ親子、里親制度を利用する親子などが参加しています。

一つ一つのケース、ひとりひとりの子供、そして親御さんの相談に丁寧に答えていきたいと思っています。

〒261-0003 千葉市美浜区高浜3-2-3 TEL: 043(277)8880



～一人職場のSTとして～

平成17年4月に組合立国保成東病院に入職して、5年目に入りました。病院のある山武市は漁業と農業の盛んな自然豊かな所です。入職したのは、前の職場を退職して、娘を出産した約1ヶ月後のことでした。STは私一人で開設を行ないました。振り返れば随分と無謀なことだったと反省しました。先輩の先生のご指導や、友人の援助が無ければ今は有り得ず、本当に感謝しています。

また、院内のスタッフの方々にも恵まれ、STに対して好意的にしてくださるので、病棟での仕事はとてもしやすいです。しかし、それでもSTとしては一人だったので、時には漠然と広がる海原に一人で投げ出されたような気持ちになることがあります。



そのような時は、県士会の活動により他の ST の先生方とお会いして、活躍されている姿を拝見すると、自分も頑張ろうと励まされます。また職場においても、個人的に他職種の方と定期的に美食会なる食事会をしたりしてリフレッシュしています。これがとても効果的です。年齢は30代の私から50代の方まで様々ですし、考え方も多様でとても刺激を受けます。職場では少し距離がありますので大局的、客観的なアドバイスをし合えます。また、働く女性としての大先輩たちと付き合えるのは勉強になります。自分がやりたいことがあるとき、だれに相談するか？どう動けばよいか？筋はどう通すか？などといった業務マニュアルには載っていない、しかし職業人として大切な仕事の流儀とか暗黙の了解といったものはこの職場に来てから多くを学ぶようになりました。

また、地域の失語症友の会の方との交流や、プライベートで地元のおばあちゃんに強引に勧誘されて始めた三味線のお稽古などを通して、地域の元気な高齢者はどんな風に日々を過ごしているのか肌でもって知ることができ、それを臨床に活かすことができていると思います。

一人職場の ST として自分の力の無さや孤独感を感じることがあっても、これらの数多くの方の支えによって今の自分があることに頭をめぐらせば、もう少し頑張ろうと元気が湧いてきます。

さて、「仕事と子育ては同じ」という言葉を聞いたことがあります、なるほどとしみじみ感じことがあります。おそらく共に逃げることができないという意味でしょうが、仕事も子供もいずれも努力だけではどうにもできず、時間が解決して育んでいく側面もあるのだなと思います。私の娘は4才となり、だいぶ言葉によって微細な意思表出ができるようになってきましたが、私も院内で少しづつ周知されてきて、やっとコミュニケーションがてきたかな、という感じです。食事時に病棟でウロウロしているのでよく栄養士や薬剤師と間違われましたが、それもなくなりました。でもまだまだこれからですし、自身の臨床能力をもっと向上させなければ、とは思っているのですが・・・。

以前の職場は ST が4名おり、先輩から指導を頂きとても勉強になり、また同職種で思いを分かち合いながら楽しく過ごすことができました。しかし一人職場でも心がけ次第で学びのチャンスはいくらでもあり、どちらにもメリットがあります。今は ST も認知され、病院や施設での採用も増えてきています。新卒から一人職場で開設という方も多くいらっしゃると思います。何か困っていることがある方は遠慮なくご相談頂ければと思います。知識、経験ともに乏しいので何もお役に立てませんが一緒に考えることはできると思います。また、県士会での出会いもどんどん活用して下さいね。

組合立国保成東病院 リハビリテーション科 畠山雅代

電話 0475-82-2521 (代)

※編集部では「臨床こぼれ話」原稿を募集しております。臨床を通して会員・会友の皆様に何かを伝えたいと考えていらっしゃる方は、県士会事務局へメールにてご連絡ください。

◇ 理事会・委員会等報告 ◇

◆ 平成20年度 理事会

『第11回』

日時：2009年2月15日（日）10:00～12:30 場所：千葉市黒砂公民館 会議室

出席者：宇野、木下、斎藤公人、斎藤敬子、畠山、山本（以上理事6名）

太田（書記）、塘（基礎講座作業部会）

1. 協議事項

（事務局より）・第10回理事議事録・新入会員など・旅費申請書・決算報告・平成20年度活動報告・

平成21年度活動計画

（学術局より）・学術局今年度反省・次年度計画・平成21年度第1回研修会計画

（高次能機能障害委員会より）・アンケートと依頼文

（生涯学習プログラム基礎講座作業部会より）・次年度計画

2. 報告事項

（事務局より）・到着郵便物など

（学術局より）・第4回議事録・第3回研修会反省

（組織検討委員会より）・第3回委員会議事録

（生涯学習プログラム基礎講座作業部会より）・第5回議事録

『第12回』

日時：2009年3月15日（日）9:04～12:07 場所：千葉市黒砂公民館 工芸室

出席者：宇野、木下、斎藤公人、斎藤敬子、斎藤順子、畠山、宮下、山本（以上理事8名）

酒井（書記）

1. 協議事項

（事務局より）・第11回理事議事録・新入会員、退会該当者確認・平成20年度活動報告・平成21年度活動計画・会則、細則、分掌規定の改定・平成20年度決算報告・平成21年度予算案・第9回総会スケジュール・生涯学習プログラム作業部会の学術局への統合・平成21年度人事案・議案書印刷、発送

（学術局より）・次年度計画・次年度年間計画・平成20年度千葉県言語聴覚士会報告集

（小児言語障害委員会より）・学校教育に関するアンケート・千葉県言語聴覚士会会員が所属する小児言語訓練（相談）施設一覧掲載リストと案内文

（聴覚障害委員会より）・研修会計画

（生涯学習プログラム基礎講座作業部会より）・次年度計画

2. 報告事項

（事務局より）・到着郵便物など

（広報部より）・第2回議事録

（介護保険委員会より）・第2回、3回議事録

『平成21年度第1回』

日時：2009年4月5日（日）9:00～12:00 場所：千葉市黒砂公民館 会議室

出席者：宇野、木下、斎藤公人、斎藤敬子、斎藤順子、畠山、宮下、山本（以上理事8名）

武田、竹中（監事）、太田（書記）

1. 協議事項

（事務局より）・平成20年度第12回理事会議事録・新入会員、退会該当者確認など・総会日程、総会議案書、総会出席届確認・総会議案書活動報告、活動計画確認・平成20年度決算報告・平成21年度予算案・総会タイムスケジュール、役割分担・総会台本・各局仕事・ニュース30構成案

（学術局より）・次年度計画・次年度研修計画・次年度学術局体制・平成19年度、平成20年度研修会報告集録文

（介護保険委員会より）・介護保険改定に関する情報交換会

（生涯学習プログラム基礎講座作業部会より）・次年度計画

2. 報告事項

（事務局より）・到着郵送物など

（小児言語障害委員会より）・千葉県教育庁訪問報告

（聴覚障害委員会より）・アンケート報告・第3回、4回議事録

（摂食嚥下委員会より）・第3回、4回議事録

（リハビリテーション公開講座作業部会より）・第3回リハビリテーション公開講座実行委員会議事録

（その他）・平成20年度第2回千葉県地域リハビリテーション協議会報告

3. 監査

《平成21年度第2回》

日時：2009年4月19日（日）9:30～10:00 場所：千葉市黒砂公民館 講習室

出席者：宇野、木下、斎藤公人、斎藤敬子、斎藤順子、畠山、山本、宮下（以上理事8名）

畠山（書記）

1. 協議事項

（事務局より）・平成21年度第1回理事会議事録・平成20年度会計監査提出・新入会員など・総会スケジュール、役割分担確認

（学術局より）・平成21年度研修会案内一覧

（生涯学習プログラム基礎講座作業部会より）・平成21年度生涯学習プログラム基礎講座、専門講座実施計画（案）

（介護保険委員会より）・介護保険改定に関する情報交換会開催計画

2. 報告事項

（事務局より）・到着郵送物など

◆ 平成20年度 社会局

《第2回》

日時：2009年3月8日（日）10:00～11:30 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：大石、加藤、斎藤、相楽（以上局員3名、理事1名）

・平成20年度総括・平成21年度事業計画・予算案

◆ 平成20年度 聴覚障害委員会

《第4回》

日時：2009年3月20日（日）10:00～12:00 場所：プラザ菜の花 サークル室 pal B室

出席者：猪野、佐藤、常田（以上3名）

・第3回委員会議事録 ・アンケート結果 ・来年度研修会

◆ 平成20年度 リハビリテーション公開講座作業部会

《第5回》

日時：2008年5月14日（木）19:00～20:30 場所：理学療法士会事務所

出席者：小貫、高橋（以上、PT士会委員）、樋島、椿井（以上、OT士会委員）、神作（ST士会委員）

・後援申請 ・基調講演の講師及び、各県士会からの演者依頼状況 ・ポスター等の作成経過 ・他

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

◇ 事務局から ◇

1. 入会のお誘い

当会に入会されていない方は、ぜひご入会くださるようお願い申し上げます。入会ご希望の方は、ホームページにても入会方法をご案内申し上げておりますのでご覧ください。また、お近くに未入会の言語聴覚士の方がいらしたら、入会をお勧めくださいますようお願い申し上げます。

2. 年会費納入のお願い

平成21年度分の年会費のお支払いをお願いいたします。年会費は前納制となっておりますのでまだお支払いではない方は至急お手続きなさってください。本会の会則により、2年以上会費未納の場合退会とみなされますのでご注意ください。

研修会、総会にて現金でもお支払い頂けますが、なるべく郵便振替をご利用頂きますようご協力をお願いいたします。振替先はゆうちょ銀行からのお支払いの場合は従来どおり 記号番号 00120-6-39932 千葉県言語聴覚士会 です。本年1月よりゆうちょ以外の金融機関よりの振込みも可能になりました。その際は、銀行名：ゆうちょ銀行、 金融機関コード：9900、店番：019、店名（カナ）：○一九店（ゼロイチキュウ店）、預金種目：当座、口座番号：0039932、カナ氏名（受取人名）：チバケンゲンゴチョウカクシカイ となります。

3. 住所・勤務先変更届けについてのお願い

住所や勤務先など、入会時にされた登録内容に変更があるときは、お手数ですがなるべく速やかに、事務局まで郵便またはFAXにてご報告くださいますようお願いいたします。変更届は会のホームページよりダウンロードすることもできます。会よりの郵便物がお手元に届くのが遅れるなど不都合がございますので、ご協力をお願いいたします。

4. リーフレットの配布

千葉県言語聴覚士会のリーフレットを所属施設に置きたい、研修会などで配布したい等のご希望がありましたら、必要部数と連絡先を明記し、事務局までお申し込みください。追ってご連絡いたします。また県士会ホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。

5. 新入会員のお知らせ (敬称略) 会員数: 正会員 304名・会友 31名・賛助会員: 5団体+1名

(平成21年5月17日 理事会承認分まで)

・・・正会員・・・

熱海 慶美(高名清養病院)	畠中 理江(千葉中央メディカルセンター)
金子 理恵(総泉病院)	小野 幸男(野田病院)
井上 教子(小張総合病院)	小池 真由美(第2北総病院)
早川 明奈(第2北総病院)	下馬場 かおり(介護老人保健施設老人ケアセンターけやき園)
深田 拓也(千葉徳洲会病院)	飯塚 葵(介護老人保健施設ナーシングプラザ流山)
牧 達人(介護老人保健施設わかくさ)	五十嵐 智美(千葉・柏リハビリテーション病院)
浦野 陽子(名戸ヶ谷病院)	河合 佐保理(千葉県千葉リハビリテーションセンター)
高部 沙織(介護老人保健施設ユカリ優都苑)	



☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

編集員のつぶやき :

みなさん「アリージョ」って言葉をご存知ですか? 身長 155 cm以下の、蟻のような小柄な女の子のことだそうです。最近の若い女の子の中には、この「アリージョ」になるため、牛乳を飲まず、夜も寝ない(寝る子は育つ)で、日々精進されている方も多いようです。でもそこには怖い落とし穴があります。食事を摂ることをおろそかにしてしまうと、血糖値が下がり、頭に糖分が送られなくなるため、物事に集中できず、仕事が覚えられない、手際が悪い、怖いSTの先輩に怒られるといった現象が起こります。最近では「食育教育」がおろそかになり、食べることの重要性を知らない若者も多いようです。健全な精神・身体作りは「食べること」「寝ること」からはじめます。今年4月に学校を卒業され、初めて社会にでられたSTのみなさん! 社会は「健康がとりえ」が大きなポイントになります。ぜひとも健康な身体を作り、職場に慣れ、臨床をすることの楽しさが実感できるようにがんばってください。応援しています!!

事務局

〒263-0023 千葉市稻毛区緑町2-1-9 103号室

TEL/FAX: 043-243-2524

E-mail: chibakenshikai@zp.moo.jp

ホームページ: <http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード: affordance

..... 求人情報

詳細は千葉県言語聴覚士会ホームページ (<http://chibakenshikai.moo.jp/>) をご覧ください。

【表の見方】①募集内容（記載がなければ言語聴覚士の募集）、②業務内容、③住所、④連絡先

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	
①	募集職種：臨時職員 若干名（できれば経験者）
②	住所：神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1 対象：成人言語・認知、発声・発語、摂食・嚥下
③	勤務時間：原則として8:30~17:00 土日祝休み 勤務開始：2009年7月以降 応相談 給与：経験考慮、交通費別途支給
④	連絡先：虎の門病院 言語聴覚科 土橋（つちはし） 電話：03-3588-1111 (PHS 7612)

七沢リハビリテーション病院脳血管センター	
①	募集：臨時任用職員若干名 H21年7月採用予定 勤務時間：8時30分～17時15分、週休2日 大学新卒20.4万+諸手当+経験加算 社保完備
②	対象：回復期の成人言語障害（失語症、構音障害等）
③	住所：〒243-0121 神奈川県厚木市七沢1304
④	連絡先：総務課 藤川・長塚 TEL046-249-2806 詳細は http://www.kanagawa-rehab.or.jp 参照 事前見学も歓迎します（言語科 TEL046-249-2931）



補聴器のご相談は安心できる

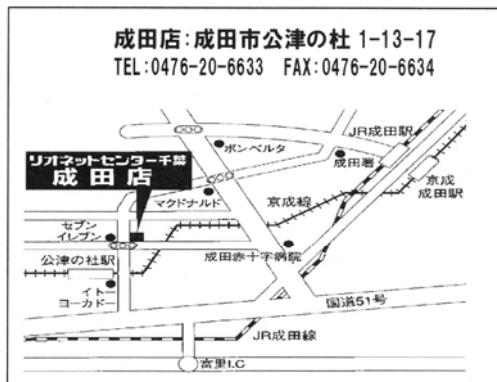
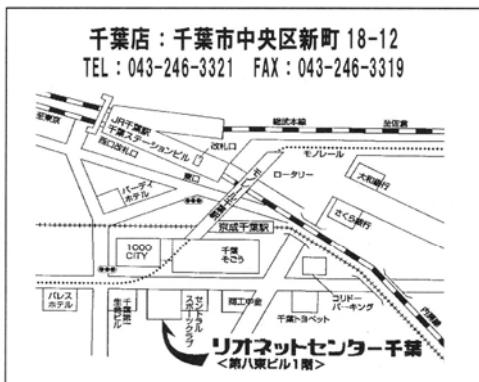
認定補聴器専門店で!!

認定補聴器専門店は「認定補聴器技能者」が在籍し、補聴器をお客様の耳に合わせるための設備機器が整い「補聴器の適正供給」の運用がされ、「財団法人テクノエイド協会」が認定したお店です。つまり経験豊かで専門的な知識と技能を持ったスタッフが、様々な機器を使い、一人ひとりのお客様の聞こえの状態に合った最適な補聴器をご提供します。



認定補聴器専門店

リオネットセンター 千葉



新製品

〈S-S法〉事物名称絵カード集

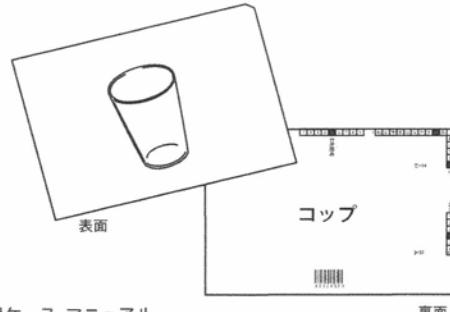
言語発達障害研究会/企画 本間慎治 佐竹恒夫/監修

A6サイズ 641枚組 **27,300円**

641種類の名詞が絵カードになりました！

子どもにとっての身近さ、接する機会の多さ、言いやすさなどを考慮して選びました。カードの裏面には名称の他にカテゴリーや50音順、文字数など、整理用コードも記載されています。

言語発達障がいの訓練はもちろん、様々な言語訓練にもご活用いただけます。



内容:絵カード641枚、語彙リスト、語彙リスト(CD-ROM)、白紙カード、車上保管用ケース、マニュアル

裏面

「自」らに「閉」じこもらない自閉症者たち **新刊**

7人の自閉症者たちが指で綴った溢れ出る思い……

ダグラス・ピクレン/編・著、リチャード・アトフィールド、他/著 A5判 393頁 3,990円

絵を使ったソーシャルスキルトレーニング **新刊**

ことばと発達の学習室M/著 A5判 103頁 CD-ROM付 1,680円

指導の基本を分かりやすく解説。

ソーシャルスキルトレーニング絵カード指導事例集 **新刊**

ことばと発達の学習室M/著 A5判 275頁 2,100円

各絵カードごとに具体的な事例を解説。

対談集「失語症」と言われたあなたへ

大田仁史、遠藤尚志、失語症者家族/著 A5判 215頁 1,575円

大田仁史医師と遠藤尚志言語聴覚士が贈る熱いメッセージの数々。

増刷出来

DVD 言語聴覚士ってどんな仕事？

日本言語聴覚士協会/制作・著作 本編約11分 1,890円

言語聴覚士の仕事をわかりやすく解説。
言語聴覚士への夢を育てます。

失語症会話ノート活用ドリルセット

小倉美智子、奥平奈保子、金井日菜子/編著 (東京都リハビリテーション病院) 7,140円

失語症者とご家族・関係者のための会話補助用ノートと活用ドリルのセットです。

自閉症の僕が飛びはねる理由 ～会話のできない中学生がつづる内なる心～

東田直樹/著 A5判 176頁 1,680円 「どうして目を見て話さないのですか？」等50以上の質問に答えます。

自閉症スペクトラムの子どもとの家庭でのコミュニケーション

東川 健、東川早苗/著 A5判 106頁 1,260円 自閉症スペクトラムのお子さんをお持ちの親御さんのために。

表示価格は消費税込みの価格です。
書籍はまとめて1,500円以上、その他の商品は7,000円以上で送料無料です

ホームページはこちら <http://escor.co.jp>
ネットショップはこちら <http://escor.jp>

障がい児者関連教材
各種開発・販売



株式会社エスコアール

〒292-0825 千葉県木更津市畠沢2-36-3
TEL. 0438-30-3090 FAX. 0438-30-3091